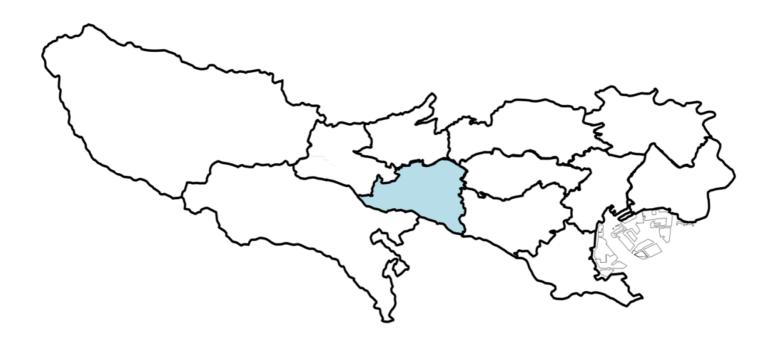
(11) 北多摩南部 (武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市)



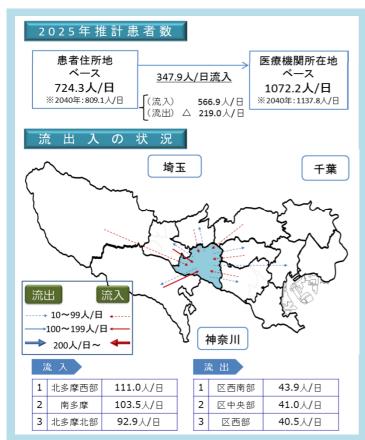
| | 82 | 0 | 8. | 35 | B | 0 | -55 | 0 | F 2 |
|---|-----|-----|-----|------|----------|------|-----|------|------|
| l | 大島町 | 利島村 | 新島村 | 神津島村 | 三宅村 | 御蔵島村 | 八丈町 | 青ヶ島村 | 小笠原村 |

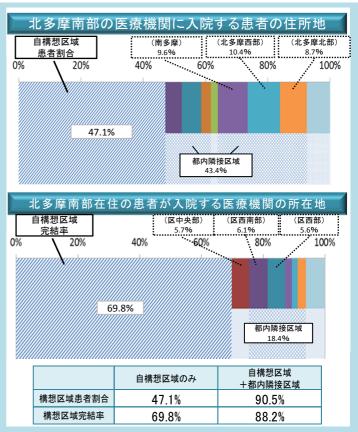
<基本データ>

口: 1,023,511(人) 積: 96.10(km²) 人口密度: 10,650(人/k㎡)

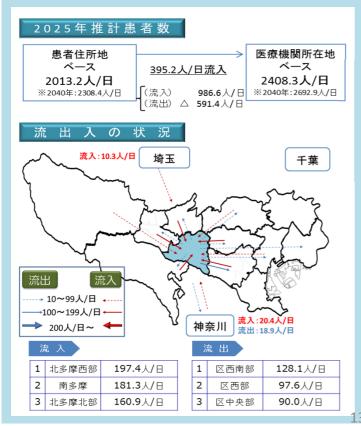
2025年における4機能ごとの流出入の状況

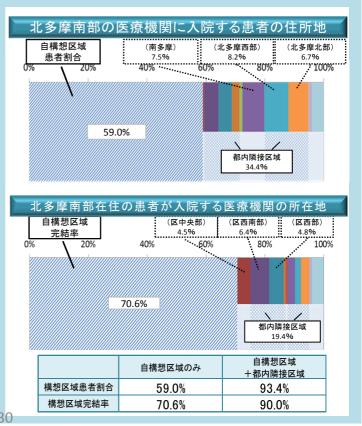
高度急性期機能

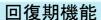




急性期機能

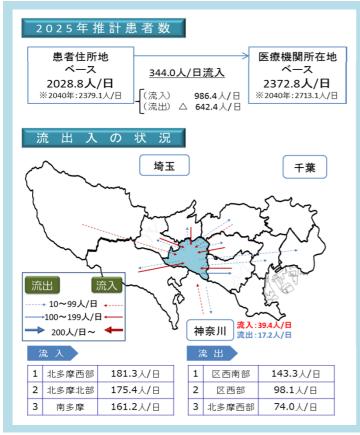


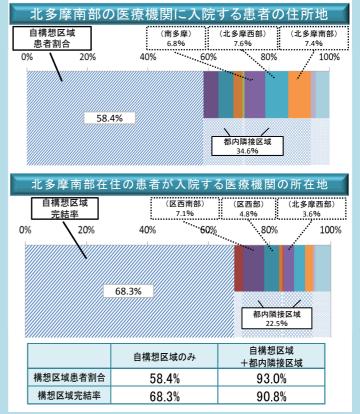




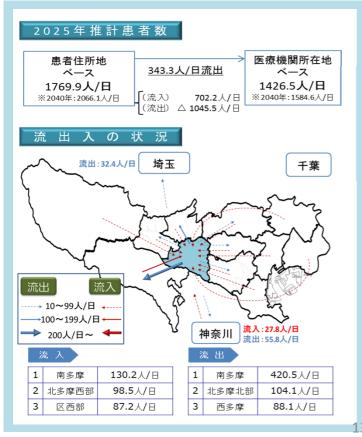


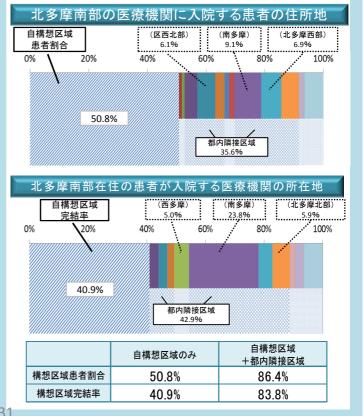
<凡例>



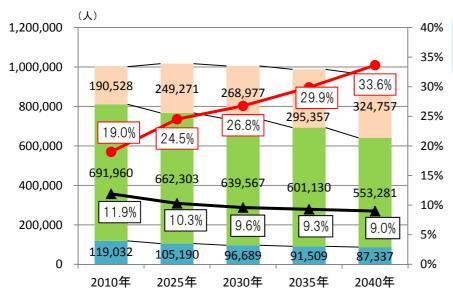


慢性期機能





② 2015年から2040年までの人口・高齢化率の推移



◆昼夜間人口比率 (夜間人口=100) 92.2



◆高齢者のみ世帯の状況

| 高齢者単独世帯数(全世帯に占める割合) | 41, 772世帯 | (8. 7%) |
|----------------------|-----------|---------|
| 高齢者夫婦世帯数※(全世帯に占める割合) | 37, 480世帯 | (7. 8%) |

[※]夫65歳以上、妻60歳以上

③ 医療資源の状況 等

I 病院数·病床数

| 一般 | 病床 | 療養病床 | | |
|-------|-----|-------|-----|--|
| 病院 | 診療所 | 病院 | 診療所 | |
| 6,185 | 199 | 1,449 | 15 | |

(参考)

| 精神病床 | 感染症病床 | 結核病床 | |
|-------|-------|------|--|
| 3,465 | 20 | 87 | |

Ⅱ 主な入院基本料等別病床数(平成26年度病床機能報告より)

| 北多摩南部の届出状況 | 病床数 | 北多摩南部 人口10万対 | 都内 人口10万対 |
|--------------------------------|------|-----------------|--------------|
| 特定機能病院一般病棟入院基本料 | 825 | 82.5 | 97.2 |
| 一般病棟7対1入院基本料 | 2491 | 249.2 | 251.4 |
| 一般病棟10対1入院基本料 | 893 | 89.3 | 95.1 |
| 一般病棟13対1入院基本料 | 50 | 5.0 | 20.0 |
| 一般病棟15対1入院基本料 | 194 | 19.4 | 25.5 |
| 療養病棟入院基本料 ※1 | 644 | 305.0 | 456.1 |
| 療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用) ※2 | 129 | 61.1 | 101.5 |
| 障害者施設等入院基本料 | 583 | 58.3 | 30.9 |
| 特殊疾患入院医療管理料/入院料 | 0 | 0.0 | 2.0 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料 | 476 | 47.6 | 40.7 |
| 地域包括ケア病棟入院料/管理料 | 0 | 0.0 | 3.7 |
| 緩和ケア病棟入院料 | 32 | 3.2 | 3.7 |

④ 医師・歯科医師等の従事者数

| 医師 | 歯科医師 | 薬剤師 | 助産師 | 看護師 | 理学療法士 (PT) | 作業療法士 (OT) | 言語聴覚士 (ST) |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------------|---------------|---------------|
| 3,274.5 | 992.7 | 397.5 | 304.8 | 7,536.2 | 467.5 | 290.0 | 81.7 |
| (327.7) | (99.3) | (39.8) | (30.5) | (754.2) | (46.8) | (29.0) | (8.2) |

下段()は人口10万対。算出基準となる人口は「住民基本台帳による人口(日本人及び外国人)」平成26年10月1日現在

⑤ 構想区域の特徴

高度急性期機能

- ・多摩地域で唯一、特定機能病院が1施設(大学病院本院は1施設)所在
- ・自構想区域完結率は69.8%と多摩地域で最も高く、都内隣接区域を含めると88.2%
- ・流入超過の構想区域であり、多摩地域の構想区域からの流入が多く、流入患者の約59% にあたる

急性期機能

- ・自構想区域完結率は70.6%と高く、都内隣接区域を含めると90.0%である
- ・流入元・流出先は高度急性期機能と同様の傾向であり、流入元の約6割を多摩地域、 流出先の約6割を区部が占めている

回復期機能

- ・自構想区域完結率は68.3%で、都内隣接区域を含めると90.8%である
- ・人口10万人あたりの回復期リハビリテーション病床数は、都平均の約1.2倍

慢性期機能

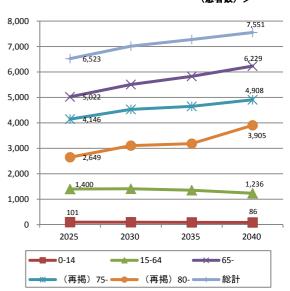
- ・高齢者人口10万人あたりの医療療養病床数が、多摩地域の構想区域では唯一、都平均を 下回る約7割
- ・流出患者のうち、南多摩に流出している割合が約4割と突出して高い

⑥ 推計患者数(医療機関所在地ベース)

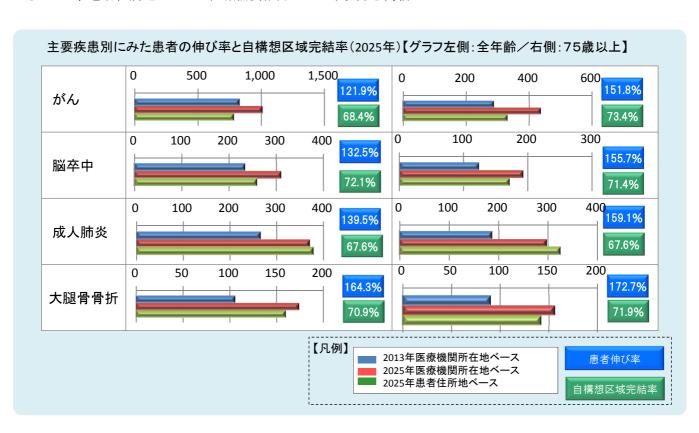
<医療機関所在地ベースの医療需要推計(患者数)>

9,000 8,121 8,000 7,000 6,321 6,079 6,000 5,000 4,765 4,000 4,018 3,700 3,000 2,900 2,066 2,000 1,547 1,672 1.772 -1,000 0 2035 2040

(参考) <患者住所地ベースの医療需要推計 (患者数) >



《厚生労働省「必要病床数等推計ツール」》 平成25年(2013)年における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出される。 そのため、患者住所地ベースの医療需要推計は2025年以降を掲載



⑦ 平成37年(2025年)の病床数の必要量 等

○ 高度急性期機能から慢性期機能まで、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、 将来の病床数の必要量を推計しました。

(上段:人/日、下段:床)

| (人/日 |
|------|
|------|

| | 高度急性期 機能 | 急性期 機能 | 回復期 機能 | 慢性期 機能 |
|-----|-------------|--------|-----------|--------|
| 患者数 | 1,072 | 2,408 | 2,373 | 1,427 |
| 病床数 | 1,429 | 3,087 | 2,637 | 1,551 |

 在宅医療等
 (再掲)

 15,069
 10,695

平成26年度病床機能報告結果





「意見聴取の場」等の意見

◆地域特性

- 大きな急性期病院があり、流出が少ない恵まれた地域
- ・流出の少ない恵まれた地域だが、大病院と中小病院との差が大きく、地域にその中間 の病院があった方がよいのではないか。
- ・遠くの病院に入院している患者も多く、家族の負担を考えると、地域に療養病床を 整備すべき。
- ・身近な地域で患者を診るためには、その受け皿となる地域包括ケア病棟や急性期機 能・回復期機能の病床が必要である。

◆医療連携(介護等との連携を含む)

- ・医療機関だけでなく、介護施設の情報まで含めた情報共有のシステムがあるとよい。
- ・患者や家族にどのような病院に行ったらよいか、介護・地域サービスも含めて紹介 できるようなシステムがあるとよい。

◆地域包括ケアシステム・在宅医療

- ・家族が介護離職することなく、患者が在宅にて療養できる環境の整備が必要
- ・三鷹市では、介護事業者と連携を密にして、在宅に結び付ける取組をしている病院が増えている。

◆その他

(救急医療)

- ・高齢者の救急を地域の病院が診ることで、地元に帰しやすいというメリットがある。
- ・2025年を考えると高齢者割合が高まり、救急搬送の増加が予想される。救急の受け入れ体制は今のままで耐えられるのか検討が必要。